

ペンリレー

山梨英和創立 130 周年

甲府21ワイズメンズクラブ 古屋秀樹

縁あって2年前からお世話になっている山梨英和学院は、平成から令和へ変わった節目の今年、創立130周年を迎えました。創立は明治22年(1889年)、この年は「大日本帝国憲法」の公布や市制の制定(含甲府市)、JR中央線の前身甲武鉄道の新宿・立川(八王子)間開通等のあった年でした。

妹や娘達に質の高い教育を受けさせたいと願った当時の甲府メソジスト教会(今の甲府教会)の青年信徒達が、既に東洋英和女学校と静岡英和女学校を開校していたカナダ・メソジスト婦人伝道会へ協力を求めて創立いたしました。

初代校長として赴任してきたミス・ウイントミュートは、当時、若干25歳、初代校主(理事長)の新海栄太郎も同じ歳でした。因みに新海栄太郎は興水順雄ワイズの希代子夫人の曾祖父、その弟の二代校主、新海祐六は祖父に当たります。

彼女が甲府へやって来た旅程は、東京から立川までは開通したばかりの甲武鉄道、そこから甲府までは馬と徒歩だったと伝えられています。旅程の最大の難所笹子峠越えはもちろん徒歩、峠の下で出迎えた2人の設立発起人である青年達との涙の対面のエピソードが語り伝えられています。

開校時6名の生徒の女学校から始まった山梨英和は、今では、女子短大を経ての共学の4年制大学・大学院、女子高である中学・高等学校、3つの認定こども園(幼稚園と保育園の一体型)を擁する総合学園(小学校はありません)となっています。校訓(スクールモットー)は「敬神・愛人・自修」であり、「キリスト教信仰に基づく人間形成の教育」を教育理念としています。

日本社会が少子化人口減少の時代となる中で、私立学校の経営は厳しい状況にあります。創立からこれまで綿々と受け継がれてきた校訓・教育理念に基づく質の高い教育を、これからも引き続き守り続けていくことで、この山梨の地で、いつまでも必要とされ、輝き続ける学校でありたいと願っています。

130周年をお祝いする行事・事業を実施いたします。7月の記念史料室展示、8月の記念講演会、12月のクリスマス礼拝等、また、中高校舎の大改修のためのご寄附もお願いしています。ワイズの皆様にもお覚えいただき、ご参加・ご支援いただけたら幸いです。

◀次回は 廣瀬健さんの予定です▶

山梨YMCA便り

山梨YMCA 総主事 露木 淳司

今年も5月1日がやってきました。山梨YMCAにとってこの日は特別な日です。73年前のこの日、終戦直後の甲府の地にYMCAが産声を上げました。四十年史「荒野に水わきいで」に当時の様子が詳しく書かれています。YMCAというのは日本の各地にあります。必ずしもすべての県にあるわけではありません。おとなりの長野や静岡にはありませんし、東北地方、日本海側、そして四国などではYMCAのない県がたくさんあります。そんな中でなぜ山梨にYMCAができたのでしょうか。明治の中頃、カナダメソジスト系の宣教師が笹子峠を越えて訪れ、キリスト教を根付かせたことがルーツのようです。甲府教会や山梨英和の誕生を経て、山梨各地に教会が誕生していきます。そんな歴史の中で戦争があり、賀川豊彦らの影響を受けながら、全国でも稀に見るハイスクールY運動(通称ハイY)の力も借りて、YMCAが産まれ育っていったのではないかと推察します。

そんなことに思いを馳せながら、毎年この創立記念日にこの山梨の地にYMCAがあることを喜び賛美する祈禱会が開催されています。今年も17人のYMCAをこよなく愛する有志の皆様にお集まりいただくことが叶いました。残念ながら今年はお席できませんでしたが、当時を知る人々の貴重な話を聞くことも楽しみの一つとなる会です。とりわけ今年は今会館での最後の機会となりました。来年はいよいよ新会館となり、翌2021年には創立75周年の記念の式典となります。皆様、ぜひこの創立記念日を覚えて大勢ご出席いただき、共に祈り、これからのYMCAの在り方についてご指導いただければ幸いです。



●5月1日朝7時半 早天祈禱会に集まった方々



**KOFU21**  
Chartered 1990

**THE SERVICE CLUB OF Y.M.C.A.**  
**THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU 21**

山梨県甲府市中央5丁目4-11  
山梨YMCA青少年センター  
〒400-0032 TEL 055-235-8543  
FAX 055-235-8553

国際会長主題 : 私たちは変えられる アジア太平洋地域会長主題 : アクション! 東日本区理事主題 : 為せば、成る あずさ部長主題 : 未来はそれに備える人のものである 甲府21クラブ会長主題 : 世代を超えて、笑顔で奉仕	Moon Sang-bon (韓国) 田中 博之 (東京多摩みなみ) 宮内 友弥 (東京武蔵野多摩) 廣瀬 健 (甲府21) 野々垣健五	甲府21ワイズメンズクラブ <b>2019年 5月会報</b> 強調月間 BF、JEF
--	--	--

**今月の聖句**

主は恵に富み、哀れみ深く忍耐強く、慈しみに満ちておられます。  
 ～～詩編 145編 8節～～  
 駒田 勝彦選

会長挨拶  
 ～五月、茅野 崋メン頑張っています～  
 甲府21ワイズメンズクラブ会長 野々垣健五



私は、「令和元年」となった5月1日より、風邪、胃、腸と次々とやられてしまい、7日間ダウンしていました。75年以上経った体の部品が「結構、頑張っていますけど…」と訴えて来る日々の中で、折り合いを付けながら付き合っていると、何といても、健康、元気でいる事の大切さを身に沁みて感じます。

具合が悪いと、つい後ろ向きな考えになりがちですが、前向きな明るい考えを持つ事が回復への良薬になると、この一週間の自身への反省を込めて思います。体調が回復した所で、湯村温泉病院でリハビリに励む茅野崋メンを見舞いました。もう「お見舞い」ではなく「訪問」という言葉が合う位、順調に回復されていました。顔面も骨折された様ですが、全くお元気な様子で、「ふらつき」をカバーする為のリハビリに取り組んでいるとの事でした。「写真を一枚」とお願いすると、「明日、床屋へ行ってからの方が良いんだけど。」と言いながら荻野メンのシャッターに付き合ってくれました。6月の第2例会に、皆で快気祝いをしましょうと話して、お暇しました。5月25日、26日は一年ぶりの草津クラブとの合同例会です。甲府21にとっては長距離ですが、余り知らない「恵那」「飯田」で旧交を温め、第一例会として開催致します。多くの皆様の支えを宜しくお願いします。

● ～5月例会プログラム～ ●

日時: 2019年5月25日(土) 終日  
 (恵那峡・天竜峡ラゲール例会)  
 会場: 恵那文化センター・飯田 久米川温泉  
 司会: 小澤公弘

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| ①開会点鐘          | 野々垣健五会長          |
| ②ワイズソング・ワイズの信条 | 一同               |
| ③会員スピーチ        | 葉袋 勝彦            |
| ④今月の聖句と一言      | 駒田 勝彦            |
| ⑤会長挨拶と新入会者紹介   | 野々垣健五会長          |
|                | 草津クラブ 滝本英子会長     |
| ⑥ゲスト紹介(卓話者)    | 野々垣健五会長          |
| ⑦ゲスト卓話         | 恵那市生涯学習課嘱託 西部良治様 |
|                | 題目「恵那市の歴史探訪」     |
| ⑧諸報告           | 寺田喜長書記           |
| ⑨YMCAの歌        |                  |
| ⑩閉会 挨拶と点鐘      | 草津クラブ 滝本英子会長     |

**5月誕生者**

🎂	メン	依田 友紀さん	5月22日
	メネット	奈良田智恵美さん	5月31日

<b>会員在籍者数</b>	32名 (2019年4月末現在)
<b>4月の出席率</b>	
例会出席数	27名
第二例会出席者数	28名 (第二例会のみ1名)
メイキャップ	0名
<b>28÷32=0.87</b>	<b>87%</b>

項目	ニコニコボックス	バザー収益金	クリスマスオークション	切手
目標値	250,000	50,000	50,000円	5,000g
4月の合計	16,895			
4月末迄累計	312,895	136,570	59,910円	1,250g
達成率	125.1%	273.1%	119.8%	25%

「4月例会報告」

甲府21ワイズメンズクラブ 寺田 喜長

4月例会報告
日時 2019年4月13日 13:00~
会場 県立図書館多目的ホール
司会 清藤メ

ン
今月の例会は、クラブの大きなイベント「ベビーカーコンサート」の後、入会式を例会とし、お二人の方に入会して頂きました。

宮内東日本区理事、廣瀬あずさ部長、菰淵あずさ部会員増強主査、板村次次期東日本区理事の立会いを頂き、お二人のお名前の書かれた大きなせしモニーパネルを掲げた大きな会場で、今までにない雰囲気の中、小野興子さん、依田友紀さんお二人が会長の入会式文に応え入会宣言をし、多くのメン、



(左から) 依田、小野、野々垣会長

メネットに祝福され入会されました。火気が使用できない中、LED ライトのキャンドルをともした清藤司会者の配慮が雰囲気を盛り上げました。入会式後は会場を移し昼食をとりながら、ゲストの方の挨拶を頂き、短時間でしたが歓談し、諸報告にて閉会しました。BC コンサートに続き長時間ご苦労様でした。

出席者「ゲスト」宮内友弥、板村哲也、菰淵光彦、大澤英二、大澤祥子、金丸さぶろう
「メン」相川、饗場、赤根、飯田、荻野、小沢公、小野、鎌田、功刀、輿水、後藤、駒田、作田、佐藤、清藤、寺田、奈良田、野々垣、廣瀬、古屋、藤原、松村禎、松村豪、薬袋、山縣、山本、依田 「メネット」相川、荻野、駒田、清藤、寺田、奈良田、野々垣、古屋、松村仁子、薬袋、依田 (敬称略)

「ベビーカーコンサートを終えて」

CS委員会 荻野 清

甲府21ワイズメンズクラブ主要イベントの一つである「第2回ベビーカーコンサートin甲府」が、4月13日(土)に山梨県立図書館2階多目的ホールで開催されました。

野々垣会長から、ご来場者への挨拶と「笑っても、泣いても、騒いでも、何でも自由にして構わない」という、ベビーカーコンサートならではの号令に始まりました。ソプラノ前原加奈様の素晴らしい進行並びに、ピアノ立川あかね様・ヴァイオリン牛山舞様・パーカッション宮下美穂様の皆様が、趣向を凝らしたプログラムのもと、会場を“賑やかに、騒々しく”ちびっ子達へメッセージを送っていました。



寄贈された“マラカス”を絶妙のタイミングでちびっ子や親御さんへお配りし、会場はベビーカーコンサートならではの、演奏者と観客がさらに一体となり、“ワイワイ・ガヤガヤ・ギャギャ・エ〜ンエ〜ン”と混乱状況?!でした。そしてアンコールでは、定番曲のフニクリフニクラ(鬼のパンツ)の歌始まりから、ちびっ子達と親御さんの興奮度が増し、騒々しさが最高潮へ達しました。

山梨YMCAきらきら教室の生徒さんと先生方には、多方面(1階・2階のお客様の案内誘導及びクロークのお手伝いなど)にわたりましてお手伝いをいただきました。また、今回は生徒さんが積極的に1階において案内プラカードを持ち、可愛らしく元気いっぱいにお客様を案内している姿がありました。

今回は、2回目のベビーカーコンサートのみならず、その後当会の第1例会(入会式)という中、会場の再セッティングということで、メン・メネットには、朝の時間帯から午後の時間帯まで長時間にわたる会場の飾り付けや開演中の進行等に奔走されたことに感謝申し上げます。

次年度は、3回目のベビーカーコンサートとなり、集客へのチャレンジとして500名を目指す方向で、甲府21クラブのメン・メネットの英知を結集して、当クラブの最たる主要イベントとして構築していきたく考えております。なお一層のご協力をお願いいたします。



「長野あずさ部 善光寺評議会報告」

甲府21ワイズメンズクラブ 松村禎夫

5月11日(土)、長野善光寺の近くにある「勤労者女性会館しなのき」にて、廣瀬部長最後のあずさ部評議会が行われました。東京、山梨、長野の11クラブ、総勢73名の参加者でした。



甲府21クラブからは、あずさ部三役の廣瀬部長、古屋書記、松村会計、はもちろん、松村仁子メネット連絡員、野々垣会長、荻野副会長、寺田書記、小沢公紀会計、以下相川、飯田、輿水、駒田、佐藤、藤原、松村豪夫、薬袋、山縣(全てメン)の合計17名が参加しました。

今回の評議会では、①今期のCS助成金配分、②次期赤羽部長期の活動方針・予算案、③来々期のあずさ部長推薦、等の議案審議を行うとともに、2月積雪天候のために流会となった八王子の「わくわく評議会」で行うはずだった、各クラブの今期活動等の諸報告を行いました。次期赤羽部長の部長主題は「あなたの入会時の“ときめき”と多くの経験をワイズのために!」です。会員増強が叫ばれている現在、なんとか、一歩でも二歩でも前に進めようとの強い意思表示がありました。

評議会の後、善光寺詣り組と街中ブラブラ観光組の二手に分かれて、約1時間半、長野観光を楽しみました。その後、会場や善光寺に近い「やま茶屋」で、森本会長をはじめ多くの長野クラブメンの温かいおもてなしにより、おいしいお料理をいただきながら約1時間半歓談することが出来ました。今回の行き・帰りも、山梨YMCAのマイクロバスを使わせていただきました。露木総主事さんの安全運転には心から感謝いたします。



「メネット事業報告」

あずさ部メネット連絡員 松村仁子

東日本区メネット会へは、国際プロジェクト、国内プロジェクトへの献金をおこなっています。現在活動しているメネット会は、八王子、甲府、甲府21の3クラブです。それが輪番制で年一回交流会をしています。

今年度は甲府21が当番で、4月16日(火)山梨の葦



崎にある“大村美術館”に参りました。大村智氏は、2015年ノーベル生理学、医学賞を受賞されました。彼が長年かいた集られた、絵画や陶磁器を一般に広く鑑賞してもらえよう、12年前に創設なされた美術館です。また、大村氏が通われた、近くのご自宅より中学までの通学路が受賞後“幸福の小径”と名付けられ、氏の立像や小径に立つ、有名な彫刻家たちの作品が並んでいます。残雪の八ヶ岳や遠くそびえ立つ富士山をながめながら、坂道を下りました。

のちにノーベル賞を受賞されるに至る氏を育んだ、この豊かな自然と、のどかな風景を味わいながら-----。その後、葦崎市内の(八嶋)にて昼食と懇親会を持ちました。

参加者は26名、八王子6名(うち女性メン2名、男性メン1名)甲府4名、甲府21 15名(うち女性メン1名、男性メン2名)東日本区メ



ネット委員長井上優子氏(もりおかワイズ)メネット委員長のごあいさつの中で、時代と共にメネットの役割が変わっていき、いろいろ問題を持っているメネット会もありますが、それぞれの形でやっていけばよいのではないかとありました。2008年より交流を続けているこの合同メネット会も、一年ぶりにお会いできるこの日は皆、心安らぐ一日です。今回大型バスを、甲府21ワイズが頼んでくれたので大変助かりました。